

日本材料学会「コンクリート用骨材・混和材料部門委員会」  
令和元年度合同部門委員会（公開）議事録

日時：2019年 8月 1日（水）14:00～17:05

場所：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス

出席者：46名（正会員18名、賛助会員6名、非会員20名、講師2名）

## 議事

### 1. 開会の挨拶（コンクリート用混和材料部門委員会 鶴田委員長）

鶴田委員長より、挨拶および今回の合同委員会の趣旨について説明がなされた。

### 2. 研究討論会

議事に引き続き、麓委員を司会として2題の研究討論会が行われた。講演者からの話題提供及び活発な質疑応答が行われた。

話題提供内容、質疑応答（質疑者のみ記載）は以下の通りである。

- 1) 「銅スラグ細骨材を混入したコンクリートの諸性質について」  
(愛媛大学大学院 氏家 勲)
- 2) 「化学混和剤の歴史と未来について」  
(コンクリート用化学混和剤協会・技術委員長 玉石 竜介)

### 3. 講評、閉会の挨拶（コンクリート用骨材部門委員会 熊野委員長）

熊野委員長より、講評および閉会の挨拶を頂いた。

### 4. 評価

骨材と混和材料という構成材料だけでなくそれらを混ぜ合わせたコンクリートに関する研究、開発、設計、製造の各分野に携わる研究者・技術者が一堂に会して行われた合同部門委員会となった。材料学会の会員だけでなく、非会員も含め広く参加者を募ることができ、副産物である銅スラグ細骨材を有効利用したコンクリートの諸性質や化学混和剤の進展と将来展望に関して、様々な分野・立場の方々と有益な意見交換を行うことができた。それぞれの部門委員会の活性化だけでなく、コンクリート技術全体の発展に大きく寄与する合同部門委員会になったと思われる。次年度以降の部門委員会の企画に対する大きな刺激にもなった。

